



しもあか

二輪草学びのエリア

(赤塚三中・赤塚小・赤塚新町小・紅梅小・下赤塚小)

令和7年 12月 1日

板橋区立下赤塚小学校

校長 菊池 宏一

学校便り NO. 8

ホームページ

<http://www.ita.ed.jp/edu/simoaes/>

思いやりの心を育む

生活指導主幹 長谷川 奨

11月は、「ふれあい月間」でした。ふれあい月間には、児童が安心して生活できる学校づくりを目指し、東京都すべての学校でいじめや不登校などの未然防止・早期発見・早期対応の取組を行っています。本校では、毎月、いじめアンケートを実施しています。11月のいじめアンケート実施後には、担任が学級の児童全員と面談を行い、児童の気持ちに寄り添っていきます。また、教職員がいじめに対する知識を深めたり、いじめ対応に対する意識を高めたりするための研修も行っています。今年度は、いじめを認知した際の教員の対応方法についてのマニュアルを改善するとともに、全教職員で改めて共通理解を図りました。

本校では「思いやりの心を育むこと」も大切にしています。そして、思いやりの心の育成が、いじめの未然防止にもつながると考えています。例えば、大規模な災害が発生した際、被災地支援のための募金活動を高学年児童が中心となって企画してきました。1～6年生までの多くの児童が「被災地で困っている誰かのために」という思いをもち、すすんで募金活動に参加しています。近隣の商店街にもご協力いただき、地域をあげて募金活動を展開しました。今後も、児童の豊かな心の育成を、保護者の皆様、地域の皆様とともに推進していきたいと思ひます。

また、「思いやり」という言葉で思い出されるのは、10月28日に実施した運動会です。赤組の児童も白組の児童も、「がんばれ！がんばれ！」と声が枯れるくらい応援し、演技や競技終了後には温かい拍手を贈っていました。私の担任する3年生は、競技で「台風の目」を行いました。練習では、一進一退の勝負が繰り広げられ、本番でどちらが勝つか全く分からない状態でした。どちらのチームも「絶対に勝ちたい」と思っていたに違いありません。本番での勝負を制したのは赤組でした。先にゴールし、大喜びをするのかと思ったその刹那、赤組の児童たちは「白組がんばれ！」と、まだゴールできていない敵チームの応援を始めたのです。勝った喜びを表現することよりも、敵チームへのエールを贈ることを選んだ赤組の児童たち。確かな心の成長を感じるとともに、目頭が熱くなった瞬間でした。

さて、12月26日（金）から冬季休業日が始まります。年末年始はご家庭の皆様で、あたたかな団らんのひとときをお過ごしください。何気ない会話や笑顔のやりとりが、児童の心を豊かに育てます。令和7年も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。令和8年が、児童の皆さん、本校に関わってくださっているすべての皆様にとって、思いやりや優しさに溢れる1年となりますことを心よりお祈りいたします。

12月の予定

※予定は変更となることがあります。

日	月	火	水	木	金	土
	1 個人面談(始) 安全指導日	2 保健指導 マラソンフェスティバル (1～4年) SC相談日 NIEタイム	3 マラソンフェスティバル (5・6年)	4 マラソンフェスティバル 予備日 (1～4年)	5 マラソンフェスティバル 予備日 (5・6年) NIEタイム	6 花火大会
7	8 全校朝会 たちばな面談 (始) 個人面談(終)	9 NIEタイム SC相談日	10 iCS委員会	11	12 NIEタイム	13
14	15	16 NIEタイム たちばな面談終 SC相談日	17	18	19 NIEタイム なかよし班活動 SC相談日	20
21	22 避難訓練	23 NIEタイム SC相談日	24 給食終	25 S時程 終業式 3時間授業	26 冬季休業日始	27
28	29 学校閉庁日	30	31	1/1 元旦	2	3
4 学校閉庁日	5	6	7 冬季休業日終	8 始業式 安全指導日	9 集会 NIEタイム 計測5・6年 席書会3・4年	10
11	12 成人の日	13 席書会5・6年 計測3・4年 たちばな指導始 SC相談日	14 S時程 計測3・4年	15 委員会	16 NIEタイム なかよし班活動 避難訓練 書き初め展始	17 S時程 土曜授業プラン 学級活動の日 寺子屋教室

年末年始について

冬季休業日中の12月29日(月)から1月4日(日)までは、学校閉庁日になります。学校閉庁日は機械警備になり学校内には入れません。(あいキッズは1月5日(月)から開所します。)

12月26日(金)、1月5日(月)、6日(火)、7日(水)は、8:15～16:45の時間帯に日直が勤務します。学校の電話は日直が勤務している日時以外は自動音声対応となります。夜間及び学校閉庁日に緊急の連絡がある場合は、板橋区役所代表 03-3964-1111 までお願いいたします。

音楽会延期について

令和7年12月12日(金)13(土)に予定されていた音楽会は、児童の練習時間を十分に確保するため、令和8年2月13日(金)14(土)に延期とさせていただきます。また、当初振替休業日とされていた12月15日(月)は、通常通りの授業日となります。ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

岡部教諭退職のお知らせ

理科専科教諭として勤務していた岡部良祐諭は、体調不良が改善しない状況が続き、11月末をもちまして退職となりました。これまで温かいご理解とご協力をいただき、保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

3年 研究授業 総合的な学習の時間「しもあか大根研究所 2025」 3年1組 中澤 純一

3年1組担任の中澤純一です。10月16日（木）に総合的な学習の時間で研究授業を実施しました。本授業では、「亀戸大根のヒミツをさぐろう！」をめあてに、亀戸大根の生産者である中代農園さんと、亀戸大根を復活させ、鍋料理やお弁当の具材として加工販売している亀戸升本さんを体育館のスクリーンにMeetでお招きし、3年生98名が食に携わる方々の思いや願いをうかがうことができるよう工夫しました。中代農園さんには、桑島教務主幹と図工専科の熱海主任教諭が、亀戸升本さんには、市村学校栄養職員と2年3組武井教諭が、インタビュアーとカメラ・音声担当として出張し、児童が抵抗なく、かつ臨場感が味わえるようにしました。



「しもあか大根研究所 2025」では、練馬大根や大蔵大根だけでなく、志村みの早生大根、そして亀戸大根と江戸東京野菜に着目させ、栽培活動や調べ学習を展開しようと考えました。江戸東京野菜の大根で、食の川上（生産）から川中（加工販売）、川下（消費）といった流れが経済的にも成立しているのが亀戸大根であるため、中代農園さん、亀戸升本さんにアプローチし、授業当日の出演を快諾いただき、江戸川区と江東区を結ぶ、大掛かりな授業が展開できる運びとなりました。このような形式の授業が初めてだった3年生からは、驚きの声があがっていました。臆することなく、ゲストティーチャーに質問したり、感想を発表し

たりすることができた児童が多くいたことは、下赤塚小学校のこれまでの研究の積み重ねの現れと感じました。

「しもあか大根研究所」は、しもあかソウルフードプロジェクトに基づき、児童自らが、食材となる野菜を愛情（ソウル）や熱意（ソウル）をもって、種から育てることで、食品生産に関わる人々の苦労や工夫を知り【感謝の心】を体感する学習活動です。

間引きしたり収穫したりした大根を、各家庭や給食で味わい、【食事の重要性】【心身の健康】という文部科学省が示す食育の視点にも繋がる学びです。

亀戸大根や志村みの早生大根といった江戸東京野菜に着目することは、東京や板橋の【食文化】を知り、追究するきっかけとなるものです。

間引き菜や収穫した亀戸大根を児童と共に調理いただき、食してくださった保護者の方々には、改めて感謝申し上げます。



（中代農園の中代さん）



11月8・9日の板橋農業まつりで掲示したものは、児童の追究活動の一つです。「課題の設定—情報の収集—整理・分析—まとめ・表現」といった総合的な学習の時間のスパイラルを知り、今後の各教科等の学習でも活用ができるよう、指導・支援を続けています。

「しもあか大根研究所 2025」の学習経験をステップとして、3年児童が未来に向かってジャンプできるように、学年教員全体で学年のまとめとなる3学期につなげていきます。